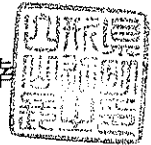




山辺建発第170号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 殿

山形県山辺町長 遠藤直幸



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のありました標記の件について別添のとおり意見を提出いたしますので宜しくお取り計らい願います。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

重点化を進める上で特に優先度の高い政策は

これまで蓄積してきた道路ストックを活用し、いかにその価値を高めるかが必要であり、部分的な改良や情報通信技術の活用、交通運用施策の導入等ハード、ソフトを組み合わせた施策が重要と考えます。次に地方における生活を維持し、国土や文化資源の保全。活用を図っていくには、総合病院、大型商業施設、雇用の場など地域の経済と生活を支えるサービスや資源を広域的に効率よく共有できる交通網の整備が重要と考えます。

効率化を徹底的に進める上で重視すべきことは

事業の開始前や途中段階で事業の必要性をチェックするなど事業ごとの評価を徹底することや、早い段階から国民の考えや意見が十分に反映されるような取り組みをもっと行い、効果を総合的に判断して事業の優先順位を明確にし、早期の事業完成を実施する必要があると考える。又、地域の実情に合った道路の規格や構造を柔軟に設定することによりコストの縮減が図られると考える。

道路政策や道路の整備・管理全般に関する事は

高齢化する道路構造物アセットマネジメントが重要となっており、調査研究及び技術開発が急務であり脆弱な町村に対する予算配分を可能とするため、補助金制度の弾力的運用を考慮をお願いします。